

リサちゃん通信 36号

伊勢リサイクルプラザ
伊勢市西豊浜町653番地
TEL/FAX 0596-38-2800
http://www.iserisaikuru.jp
Email:eco@iserisaikuru.jp
平成26年4月吉日発行

第23回環境学習会



「どうなってんの？ 私たちの出すゴミ！ Part8」

正しい分別 きれいなごみ出し！

と き：平成26年5月31日（土） 13時30分～15時00分
と ころ：伊勢リサイクルプラザ 伊勢市西豊浜町653
講 演：「ごみ処理の現状と課題」「清掃工場見学」
講 師：伊勢広域環境組合職員：伊藤・櫻田
参 加 費：無料、事前申込み不要
お問合わせ：0596(38)2800



ここ数年、燃やすゴミが増え続け、清掃工場にある2基の焼却炉が、土・日・祝日も24時間フル回転してやっと処理できています。そこで平成19年から5年間で工事費約43億円かけて設備の取り換えをしました。夏場の水分の多いごみの焼却も、これで重油を使うことなく処理できるようになりました。ごみの焼却には莫大な費用がかかります。が、まだ再利用できたり、リサイクルできるものを燃やすのは、何より“もったいない”です。正しい分別は大切な事です。

ごみ処理の現場を見て頂き、「ごみの発生量、ごみ処理にかかる経費、正しい分別方法」などを担当職員からご説明いたします。

ごみの処理現場を見て下さい。見て聞いた人の率直なご意見をお聞かせ頂き、ごみの減量につなげたいと思います。ぜひご参加ください。



リサちゃんの
つばやき！

もったいない精神を活かして ごみも人もダイエット



- ★ ごはんは、残さず食べましょう。お茶は、マイボトルを持って行きましょう。
- ★ 料理は作り過ぎないように。食材は全てを使うように工夫しましょう。
- ★ 道具は大切に使い、壊れたら、直せるものは直して大事に使いましょう。
- ★ お買い物のときはマイバッグを持って、買うものはメモをして衝動買いをなくしましょう。



今から 始めよう！ 続けよう！

大盛況！環境学習会終了！驚きの自然農法

第22回環境学習会 3月15日(土)

「時芽輝農場主の池添友一氏をお迎えして」

沢山の人に来て下さいました。こんなに大勢の参加者は初めてです。皆さん化学肥料や農薬を使わずに安心・安全な野菜を育てるには、どうすればいいのか、聞き漏らすまいと一所懸命お話を聞きました。



畑は耕さない、草は抜かず、葉の部分だけ刈り取る。種は耕さない畑へ直に蒔き、収穫後種取りする物だけ残して良く実らせ採種する。その種を翌年蒔き、育てて採種。それを繰り返すと、その土壤に合った作物に変わっていく。

料理で使われない部分は畑に埋める、ごみを作らない。葉を刈り取った草の根は、土中で毛根が伸び、微生物を増やし、植物を育てる微生物一杯の土壤に変化していくのです。そして作物と会話しながら暖かく見守り実りを楽しもうと、穏やかな口調で話される。

この日は綿と麻の衣服。着なくなり捨てる時は畑へ。畑へ置いとけば土になっていくのですと。

終了後、皆さんから池添さんの畑へ行ってみたい、どんな農場なのかこの目で見たい、「ぜひ見学会を開催してほしい」とのご意見をたくさんいただきました。ありがとうございました！！

池添さんの自然農法に感動して

樋口明美

耕さない、草も引かない、肥やしもやらない、水さえも。昨夏の猛暑ですら一度もやらなかったと、さらりと話されるが・・・こちらにすれば、すべてが目から鱗。本当に問い直したいことばかりでした。いざ実行となると勇気がいるのだが・・・

この冬、大根、ごぼう、人参、子かぶ等を試してみて、ビックリ。結構大根は太くなり十分に食させていただいた。ワケギ、春菊、サニーレタス、サンチュは、まだまだ元気で食卓を賑わしているし、エンドウ、そら豆は、畝返しもせず、雑草の中へ種を埋め、印に竹を指しておいたのが、今ハコベやカラスのエンドウ、ホトケノザやヤエムグラと絡みあい、競うように背伸びをし、元気に実をつけ始めている。草で足の踏み場もないから、少々踏み倒して通り道をつけた。

池添さんは、働くは、畑楽（はたらく）で、畑を楽しむ、楽（らく）をすること。そして草は宝と、静かに笑う。

その日の衣服は綿と麻。着古して捨てる時には、畑のマルチとなり土に戻るのでしょうか。想像しただけでも楽しい。まさしく持続可能で完全循環。

私も試行錯誤中であるが、この出会いをきっかけに自然の不思議に耳を澄まし、一生のライフワークとして、季節の移ろいの中に身を委ねたいと思っています。